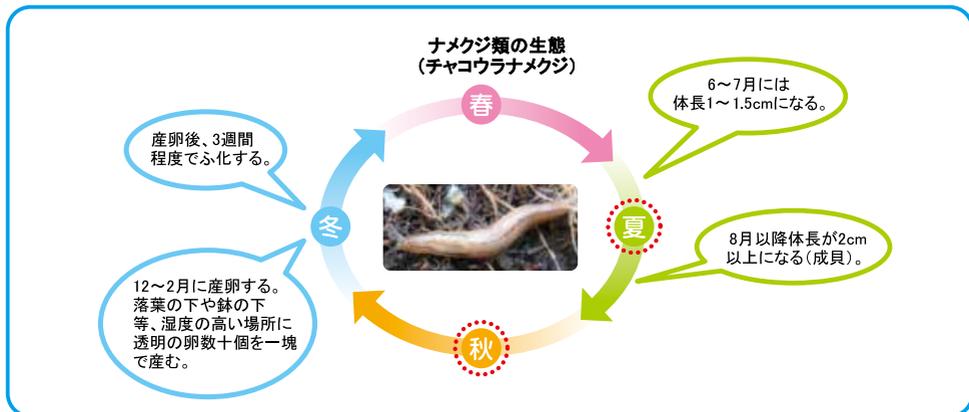


ナメクリーン 3 技術情報

ナメクジ類

生態



被害

- 幼体、成体ともに、茎葉の区別なく加害しますが、作物によっては新芽・花・果実等を好んで加害するものもあります(かんきつ、いちご等)。直接の食害に加え、這った跡(徘徊痕)による品質低下や、食害痕からの細菌感染(2次被害)の被害も見受けられます。湿度の高い時期・環境で活発に活動し、大きな被害を与えます。

防除時期と薬剤

- ナメクジ類の発生期にナメクリーン3を処理します。
- 使用する作物や使用量・方法については、登録内容を遵守してお使いください。
- ナメクジ類、カタツムリ類に対する防除は、マイキラー、またはマイキラーLとの併用をおすすめします。マイキラー、マイキラーLはナメクジ類・カタツムリ類に対して速効的に効果を示す液剤(フロアブル剤)です。生息環境となりうる圃場周辺の雑草地等にも散布すると効果的です。



マイキラー マイキラーL

ナメクリーン3は使用方法を守って正しく使いましょう！

